プロジェクトファシリテーション能力向上研修【オンラインライブ】（4126013）

ニューノーマル環境でのプロジェクト活動や会議におけるファシリテータの役割を理解し、チーム活動の支援者として、今まで気づかなかったチーム活動事例・情報・リーダーシップスキルを学びます。伸び悩み期、キャリアアップ期のSEの方必見。

開催日時	2026年6月4日(木) 9:00-17:00ライブ配信
JUAS研修分類	ビジネススキル(ビジネス・コミュニケーション)
カテゴリー	業務遂行スキル ヒューマンスキル
DXリテラシー	Mind(マインド・スタンス)：新たな価値を生み出す基礎としてのマインド・スタンス
講師	足立英治 氏 （株式会社フォース・トランキル 代表取締役 ） 1978年日本ユニシスに入社、生産管理システムの開発等に従事、その後食品原材料メーカーに転職、購買、営業、人事、情報システム、経営企画、総務等のマネージャーを経験。1997年独立。国産ERPメーカーで、プロジェクトマネージャー、業務コンサルタントとして活動をおこなうかたわら、人事コンサルタントとして、人事制度、人事評価制度、人材育成体系の再構築を、上場製造業、SI等でコンサルティング活動に従事、研修講師としては、リーダシップ、ファシリテーション、プレゼンテーション等の研修で、上場企業から、中小企業まで、300社以上での実施経験を有する。
参加費	JUAS会員企業/ITC：35,200円 一般：45,100円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	若手SEの方 初級
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	※事前学習について考えてきてください。開催７日前を目途にご案内いたします。
ITCA認定時間	7

主な内容

■受講形態
ライブ配信（Zoomミーティング）【セミナーのオンライン受講について 】
■テキスト
開催７日前を目途にマイページ掲載
■開催日までの課題事項
事前課題
※事前学習について考えてきてください。開催７日前を目途にご案内いたします。

ニューノーマルな仕事環境で、プロジェクト活動の、成否を大きく左右するのが、メンバー間のコミュニケーションと、プロジェクトチームのチーム力です。
多くのプロジェクト活動が、プロジェクトマネージャーのマネージメント能力・リーダシップへの過度の期待によって失敗に陥っています。
このような事態を未然に回避するには、メンバー間の相乗効果を高めると共に、対立をおそれず、メンバー各自の自主性、自律性を高めるチーム作りが必要です。
そのためには、プロジェクトマネージャーとは別に、プロジェクトあるいはプロジェクト会議を、観察し進行するファシリテータを配置することが有効とされています。
本セミナーでは、プロジェクト活動、プロジェクト会議（オンライン・ライブ）における、ファシリテータの役割を理解し、ファシリテーションスキルを実践的に若手SEの人たちに身につけていただきます。
ケーススタディーを通して具体的、かつ実践的なノウハウを習得します。
また、情報システム部門マネージャー、ベンダープロジェクトマネージャー、業務改革コンサルタントの経験を有する講師より、失敗・成功事例も数多くご紹介します。

ニューノーマル環境で、若手SEとして、要求定義・システム開発・業務改革等のプロジェクト活動で活躍されている方、必見の講座です。

＜内容＞
（１）オリエンテーション

（２）強いチーム
コンセンサスゲームを使って、強いチームを作るためのファシリテータの役割を、オンライン会議で体験する。

（３）ファシリテータの基本行動
プロジェクト立上げ、計画実施、変更管理、評価の
各ステップにおけるプロジェクトファシリテーションの基本行動を双方向講義で明確にする。

（４）プロジェクトキックオフ会議のプロセスデザイン
ケーススタディを通じ、プロジェクトキックオフ会議準備から、プロセスデザインを実践的にオンライン会議で体験・習得する。

（５）プロセス観察と介入のスキル
会議におけるファシリテーションの基本行動（質問のスキル、記録のスキル、介入のスキル）を双方向講義で習得する。

（６）相互啓発と介入のスキル
会議においてメンバーの関係の質を向上させ、メンバーの率直さや集中度を高め、チーム支援を効果的に行う方法を講義で習得する。

（７）オンライン会議とファシリテーションのポイント
オンライン会議でのファシリテーションを行う際の注意点を講義で習得する。

※状況によって内容・進め方を変更する場合があります。

＜参加者の声＞
・ファシリテーションでの観点、立ち位置、議論における進め方についてとても勉強になった。
・業務での打合せなど、会議の場で活用できる視点や自分の立ち振る舞いを学ぶことができた。
　また自分の行動を振り返ることで自分の課題を理解することもできた。